



災害時のコロナ対策

熊本県人吉保健所 劔（つるぎ）陽子

演題発表に関連して、開示すべきCOI関係にある企業等はありません



人吉保健所と7月4日球磨川流域の水害

- 鹿児島・宮崎と県境を接する熊本県南部人吉球磨地域10市町村（1市5町4村）を管轄する県型保健所
- 7月4日に球磨川が氾濫。人吉市、球磨村、山江村、相良村に甚大な被害が発生した。その他の町村にも住家被害、農業被害などが発生している。
- 7月4日水害により、各市町村には避難所が開設された。最も多かった人吉市には当所10か所の避難所が開設された。球磨村は発災当初は道路被害が大きく一般車両が村内に入ることが困難であった。村内2か所の避難所に加え、ヘリコプターで孤立地域から救出された住民は、村外の避難所2か所（人吉市、多良木町）に避難することとなった





管内市町村と避難所におけるコロナ対策について、7月6日に会議を開催予定であった

- 7月3日夜、会議資料を印刷して準備していた
- 会議資料には、受付票の例、トイレ掃除に関するチラシ、トイレ掃除チェックシート、衛生環境管理チェックシート、コロナ対応フローなどを入れてあった
- 会議開催前に発災してしまったので、発災後各市町村に用意してあった資料をFAXとメールにて送信した
- 発災当日夕刻より、こういった資料を持参して各避難所を訪問し、避難所開設早期より感染症対策、環境管理に取り組めるよう、できる限り努めた

発災前に準備をしておくことが大事。発災時には初動が大事。



避難所で発生したら保健所に連絡が必要な感染症等

(疾患)

- 新型コロナウイルス感染症
- インフルエンザ
- 結核
- 感染性胃腸炎
- 食中毒
- 麻疹・風疹・水痘など

(状況)

- 多数の発熱患者
- 多数の嘔吐・下痢症状



避難所におけるコロナ対策

- コロナだけでなく、「感染症対応」ができることが基本
- 受付でスクリーニング：行動歴と接触歴、発熱、呼吸器症状（咳・咽頭痛など）、胃腸症状（下痢・嘔吐など）、発疹の有無
- 日々の生活で健康チェック
- 環境衛生管理（トイレ掃除、換気、ソーシャルディスタンス：早めに住民自治で）
- 体調不良者のための隔離スペースの確保
- 感染症疑い患者が発生した時の連絡体制を明らかにしておく
- 避難所運営職員への感染予防教育



受付票の例

名前 性別 年齢	住所 電話番号	次の症状があれば チェックしてください	新型コロナ接触歴・行動歴
(名前) 男・女 () 歳	(住所) (電話番号)	☐ 発熱 (°C) ☐ 咳 ☐ 鼻水 ☐ のどの痛み ☐ 呼吸が苦しい ☐ 下痢 ☐ 嘔吐 ☐ 発疹 ☐ 強い倦怠感 ☐ 味覚・嗅覚障害 ☐ その他 ()	☐ 14日以内に、新型コロナ感染症 患者または疑い患者と接触した ☐ 14日以内に、新型コロナ感染症 の流行地域に行った（首都圏、海 外など： ）

その他、「新型コロナと診断され、自宅にて入院待機中である」「新型コロナが疑われて検査をし、現在自宅にて結果を待っているところである」といった人も地域に存在する可能性が有る





避難所受付エリア

- 検温
- アクリル板
- 手指消毒液
- マスク着用を促す掲示

避難が長引いたら～
日々の検温の実施と体調
不良時に申し出ることが
出来る仕組みを作ること
が大切



トイレ入り口



遊園地名: _____		トイレ掃除チェック表										トイレは1時間に1回程度	
日・月・時間	7/10 15:30	7/10 19:10	7/12 9:50	7/12 17:30	7/13 10:20	7/13 18:30	7/14 10:30	7/14 18:30	7/15 10:30	7/15 18:30	7/16 10:30	7/16 18:30	
ドアノブ(出入口)													
ドアノブ(個室)													
手すり													
ペーパーホルダー													
フタ													
便器													
手指消毒剤													
悪臭対策													
詰まり													
トイレトペーパー補充													
換気													
ゴミ箱													
清掃者	11/0	伊東 隆崎	11/0										
点検者													

...1000ppm次亜塩素酸ナトリウム液でのふき取りをお願いします。金属部分は最後に水拭きしましょう。

トイレの清掃 5つのポイント

1 そうじをする方の身支度と準備

使い捨ての手袋・マスク・エプロンをつけましょう。



2 消毒液の準備

次亜塩素酸ナトリウムを使います。窓を開けて換気をして作業しましょう。

3 まず、みんなが触れる場所の清掃

ペーパータオルに消毒液をひたし、ドアノブ・電気のスイッチ・手すり・水洗レバー・水道の蛇口・ペーパーホルダー等をふき取ります。

*トイレが複数ある場合はまとめて先に行います。

4 次に、便器周りの清掃

汚れはブラシで落とし、フタ⇒便座⇒便器の順でふき取ります。

便器に使用したぼろきれ・ペーパーはそのまま捨てましょう。

5 手袋をはずして手を洗いましょう！

その他、掃き掃除やごみ袋の交換、トイレトペーパーの補充などを行います。



避難所衛生管理チェックリスト(市町村名)			
実施年月日 (令和 年 月 日)		避難所名 ()	
避難者数 (日中: 名、夜間: 名)		避難所対応職員氏名 ()	
記載者所属 ()		記載者氏名 ()	
①手指衛生・咳エチケットについて			
1	トイレの後や食事前に、手洗いができる環境か。	できる (水道・蛇口 付タワ)	できない (ウェットティッシュ 有・無)
2	避難所の入口、トイレや手洗い場に手指消毒剤が設置してあるか。	している	していない
3	手指消毒剤の量を確認し、減っている時には交換しているか。	している	していない
4	避難所住民が手指衛生の必要性がわかるよう放送や声掛け、ポスターなどで啓発しているか。ポスター掲示場所 ()	している	していない
5	ペーパータオルを設置している場合、ぬれぬれよう立てて設置しているか。	している	していない
6	避難者は、できるだけマスクを着用しているか。	している	していない
②トイレの衛生環境について			
1	昼間1時間に1回程度(できるだけ頻回)掃除を行い、清潔か。 (1日の掃除回数 回)	している	していない
2	掃除を行う当番者は、掃除のやり方ポスターを見ながら手袋・マスクをして、ポスターの順番で清掃しているか。	している	していない
3	オムツや汚物入れを毎回掃除のたびや、一杯になったら捨てているか。	している	していない
4	調整した消毒液(次亜塩素酸ナトリウム)は、使う日に作成したものか。 ※次亜塩素酸ナトリウムは揮発性があり、紫外線で分解されます。まとめて調整する場合は、密封・遮光保管し、作成した日に使い切ります。	している	していない
③食品管理について			
1	調理者(配給者)が、毎回手指衛生を実施し、手袋、マスク、帽子を着用しているか。	している	していない
2	期限が過ぎた食品を定期的に確認し、廃棄する体制ができているか。	している	していない
3	おにぎり、お弁当などは配給された後すぐに食べることが理想だが、やむを得ず保管する場合は、冷蔵庫などに保管するなど温度管理をしているか。	している	していない
4	避難所生活者用冷蔵庫に、期限が過ぎた食品等が残らないよう管理されているか。	している	していない
5	食中毒予防の啓発を定期的に放送や啓発媒体、声かけなどで行っているか。ポスター掲示場所 ()	している	していない
④環境衛生について			
1	避難所内は土足禁止となっているか。	なっている	なっていない
2	窓の開放、換気扇、空調設備で定期的(1時間に1回程度)に換気しているか。	している	していない
3	人と人の間(または家族間)が1～2m程度の距離で保たれているか	保たれている	保たれていない
4	人が良く触るような場所(ドアノブ、手すりなど)は定期的にアルコールや次亜塩素酸ナトリウム溶液を使って拭拭しているか	している	していない
5	ゴミが整理されており、悪臭やハエなどがいないか。ゴミ箱にはふたがされ、ゴミ袋は縛られているか。蚊やハエなどが入ってこないように網戸等で配慮しているか。 (網戸が設置不可の場合は蚊取りマット等で対策している)	している	していない
⑤体調不良時の体制について			
1	体調不良者(コロナ疑い含む)が出たときの体制は共有されているか。	いる	なし
2	体調不良者用に隔離する部屋・トイレがあるか。	ある	なし
3	嘔吐時に対応する消毒セットをできるように準備しているか。 (設置場所)	している	していない
4	体調不良者の対応をする人は適切な防護具が使えるか	使える	使えない
⑥その他 気になったこと			
熊本県 吉保保健所 TEL:0966-22-3107 FAX:0966-22-3129 熊本県新型コロナウイルス感染症専用相談窓口(コールセンター) TEL: 096-300-5909(24時間対応)			

避難所環境管理チェックリスト

- すべての避難所で、避難所運営管理者や支援者が同じチェックリストを使う
- 皆が同じ視点で、環境管理ができるようにする
- チェックリストを保健所が回収し、改善が必要と思われるところに巡回して、改善策を助言する

熊本地震後に作成されたものを、
コロナ対応ができるものとしてアレンジ





専用トイレの
確保
ラップポン



隔離室

With コロナ時代の避難所 4か所の隔離スペースが必要となる

- 感染症疑い患者用隔離スペース
- 新型コロナ濃厚接触者用スペース
- 新型コロナ疑い患者用スペース
- 新型コロナ患者用スペース



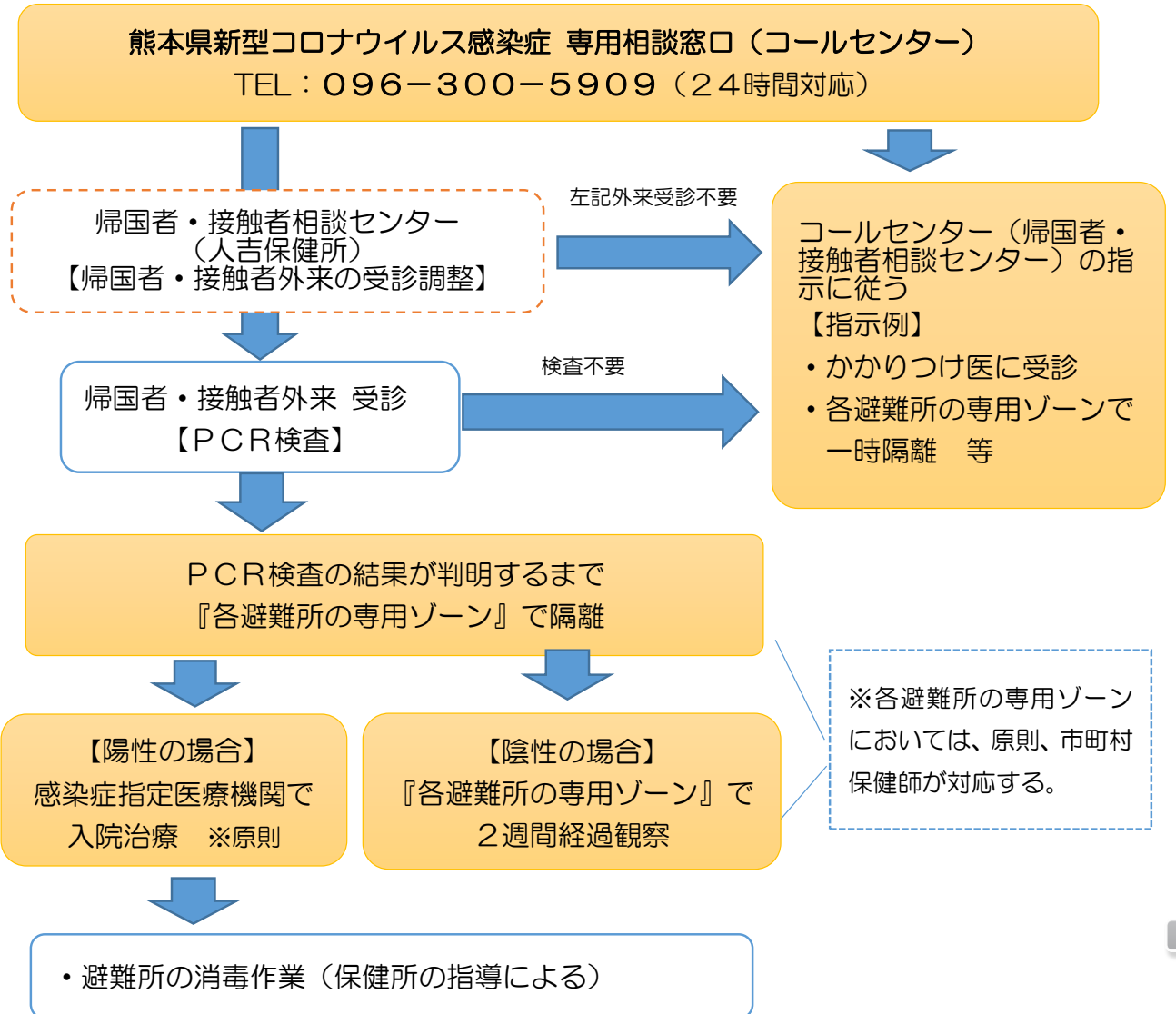
避難所におけるコロナ対応フロー

- 症状のある避難者
- 避難所運営管理者
- 市町村保健師
- 保健所

の間で、どのように連絡をとって
いくかを決めておく必要がある

新型コロナウイルス感染症専用相談窓口相談する目安（以下のいずれかに該当する場合）

- 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある
- 重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある
- 上記以外の方で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く



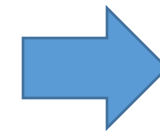
職員教育

- 避難所運営は、一般職員が担当
- 必ずしも、保健師等看護職が常駐するわけではない
- 標準予防策についてや、使用した手袋等の安全な廃棄について、基本的な知識・技術をあらかじめ教育しておく必要がある。



被災地の医療事情

- 多くの医療機関が浸水被害
- 人吉球磨管内救急告示病院4病院のうち、2病院が浸水し外来診療不可能に→残りの2病院の負担増
- 医療従事者自身も被災→マンパワー不足に
- 災害拠点病院と感染症指定病院が同じ病院→災害関連の診療・入院が増え、感染症の病床確保が難しい状況
- 新型コロナの「帰国者接触者外来」「病床確保」3病院のうち、1病院が浸水→新型コロナの診療・入院ができる病院が減った



- 症状が無い人、診療の必要がない人は、保健所で検体採取（医師は一人のみ）
- 管内で入院不可能な場合は広域搬送を調整することとした

被災地支援者にコロナ検査は必要か

熊本派遣の高松市保健師が感染 豪雨対応、30代男性

新型コロナ・岡山対応

医療

シェア ツイート

熊本県は13日、豪雨対応の応援で派遣されていた高松市の30代男性保健師が同市に戻った後、新型コロナウイルスの検査を受けた結果、感染が判明したと発表した。

県によると、高松市職員の保健師は香川県を通じて派遣。8日に熊本県内に入り、人吉市内の中学校や多良木町の高校の旧校舎で、避難者の健康確認などを担当。保健師が活動した避難所は消毒を行った。



香川県庁

保健師は12日に戻り、新型コロナの検査を受け、感染が分かった。保健師は活動中マスクを着用しており、熊本県は「避難者に感染した可能性は低い」としている。

- 避難所で支援活動に従事していた保健師が陽性
- 県の方針で戻ったときにPCR検査を実施（行く前は検査無し）
- 13日午前中実施の検査で陽性。同日夕方の検査で陰性



保健所の対応

【積極的疫学調査】

- 濃厚接触者は同行していた香川県保健師のみ
- 避難所の住民、避難所にいた運営職員などは濃厚接触者ではないが、希望者には検査をすることとした

【検査の実際】

- プレスリリースが行われた19時から、2か所の避難所で住民に説明。367人が検査を希望。支援に入っていたDMAT、DHEAT医師ら5人で、避難所の屋外にて検体採取

【消毒】

- 検体採取終了後、当該保健師が立ち寄った避難所のほか、地域より要望のあった校舎内部まで、人が良く触る場所を中心とした拭き上げによる消毒を、県地域振興局職員総出にて実施

作業終了は午前0時すぎ。保健所職員はその後書類作成などに従事



その後

- 希望にて検査を受けた避難所運営を担当していた被災地である村の職員、応援の他県職員などが、結果が出るまで自宅待機となり、避難所運営をする人がいなくなった→県地域振興局職員が人を出さないといけなくなり、前夜が徹夜に近い職員が多かったため、職場は殺伐とした雰囲気となった
- 応援を出していた他県が「帰県時に熊本でPCR検査を受けられなければ、後続の応援は止める」ということになり、留め置かれたすでに來ていた応援職員が疲弊した
- 他にも、自分の自治体に帰るときにPCR検査を熊本で受けさせたいという希望が殺到した
- 無症状の支援者すべてにルーチンでPCR検査を受けさせるような余裕は、被災地域にはない



まとめ

- 災害が起こる前に、コロナ対応もできる避難所運営について、避難所運営の主体である各市町村で準備しておく必要がある
- 発災したら早期に対応に取り組むことが大事。
- 長期に渡る避難所運営では、住民自治による衛生管理ができるようにする
- 被災地では医療事情も脆弱化する。広域でのコロナ対応を考える必要がある
- 簡単に考えて実施するコロナ検査は、結果によっては被災地には非常に大きな影響を及ぼし、非常に大きな負担がかかる。十分に考慮した検査実施をお願いしたい。



ご清聴ありがとうございました

